

大刀洗町地域公共交通計画（2022-2026）

少子高齢化や自動車の普及、新型コロナウイルス感染症の影響により存続が難しくなっている公共交通機関。しかし、本町にとって町内外の日常的な外出移動を支える大切な財産であることから、将来にわたり維持していくためには公共交通の活性化及び再生を推進していく必要があります。本計画では、大刀洗町全域を計画の対象区域として、町内の誰もが自由に移動できるまちを実現する取り組みを目指します。

● まちが目指す将来像



将来像

誰もが公共交通を利用して、行きたい場所へ移動できるまち

● 公共交通が果たすべき役割

役割1 広域的な移動ニーズに対応して町内外を結ぶ

役割2 町内の移動ニーズに的確に対応した使いやすいサービスを提供する

役割3 自家用車利用を中心とする町民の意識・行動の転換を促す

役割4 福祉・観光等のまちづくり分野と連携してまちの活性化を支える

● 大刀洗町の地域公共交通を取り巻く課題

1) 自らの移動手段を持たない交通弱者の支援

免許返納に伴う交通弱者への対応、子どもの移動環境の充実など

2) 町全域に広がる公共交通空白地域への対応

公共交通の不便地域の解消、補完的な移動手段の確保など

3) 自家用車を中心とする暮らしから公共交通への転換

自家用車を手放せない高齢者の移動支援、町民の意識転換を図る機会の創出など

4) 町内外の移動を支える既存公共交通の維持

基幹的な公共交通の役割を担う既存公共交通の維持・存続など

5) 利用の前提となる分かりやすい情報案内の充実

関係事業者と連携した情報発信、町民の情報提供に関する満足度の向上など

6) 利用の拡大を図るための企画・利用促進

公共交通利用の拡大、ターゲット層に向けた利用しやすさの向上・工夫など

7) 社会情勢や交通施策者の経営環境に配慮した取り組みの展開

SDGsや環境負荷への取組、新型コロナウイルスの拡大防止対策、公共交通の運行支援など

● 計画の目標

目標1

既存公共交通による提供サービスの維持・活性化

本町にとって西鉄甘木線・甘木鉄道、路線バス北野線、高速バスは、近隣市町村とを結ぶ重要な役割であり、将来にわたり維持に取り組む必要があります。そのため、周辺市町村と協調しながら継続的な運行支援や利用促進などに取り組み、持続的なサービスの実現を目指します。

※ 評価指標（KPI）

西鉄甘木線及び甘木鉄道の乗降客数	大堰駅 363人/日以上 本郷駅 359人/日以上 西太刀洗駅 184人/日以上
------------------	--

高速バスひた号の運行便数 平日 68便・土日祝 57便以上

路線バス北野線の運行便数 平日 23便・土日祝 10便以上

目標2

町民の多様な移動ニーズに応じた新たな移動手段の創出

自らの移動手段を持たない高齢者や子どもなど誰でも自由に外出できる移動環境の実現を目指します。そのため、多様なニーズに合わせたサービス提供により利便性を確保し、交通空白地をはじめとする町内の居住地から、快適に利用できる公共交通環境の構築を図ります。

※ 評価指標（KPI）

のりあい定額タクシー乗車人数 20人/日以上

利用者1人当たりの町負担額 900円/人以下

▶ 乗り合わせ（複数人利用）を促進し、1人当たり町負担額の抑制を目指します
(運行経費) (収入) (町負担額) → 1,300 ÷ 1人 = 1,300円/人
1,600円 - 300円 = 1,300円 → 1,300 ÷ 1.5人 = 900円/人

目標3

多様な関係者の連携による公共交通の利用促進・活性化

自家用車利用に依存した町民の意識・行動を転換していくため、公共交通に関する情報提供の充実や利用促進などに取り組みます。また、多様な関係者との連携を強化し、施設・イベント等と公共交通の相互連携による公共交通利用の活性化を図ります。

※ 評価指標（KPI）

取り組みへの協力パートナー数 累計20件以上

運転免許返納数 累計200件以上

公共交通に対する満足度 4.0点以上

● 目標を達成するための施策

施策1 西鉄甘木線及び甘木鉄道の維持

- ① 鉄道駅における乗り場環境の整備
- ② パーク＆ライド及びキス＆ライドの推進
- ③ レンタサイクル事業の推進

施策2 高速バスひた号の提供サービスの維持

- ① 民間主導によるサービス提供の維持
- ② 高速バス停のパーク＆ライド事業の推進
- ③ 運行再開のタイミングに合わせた利用促進協力

施策3 路線バス北野線の提供サービスの維持

- ① サービス提供の持続に向けた運行支援
- ② 今村天主堂バス停におけるパーク＆ライド事業の継続及びバス停までの交通手段の確保
- ③ バス停における待合環境の整備

施策4 町内の新たな交通手段の創出

- ① 新たな交通サービスの開始
- ② 地域生活交通検討会によるモニタリング

施策5 町内の補完的な交通手段の維持

- ① 福祉有償運送等の継続・支援
- ② 校区巡回バスの継続・支援

施策6 町内の公共交通に関する利用案内の充実

- ① 公共交通ガイド（マップ・時刻表等）の作成
- ② 町のホームページ等による情報環境の充実

施策7 地域主体の取り組みの推進

- ① 住民意見交換会の開催
- ② 自治会等を通じた乗車体験・イベント、交通安全教室等の開催

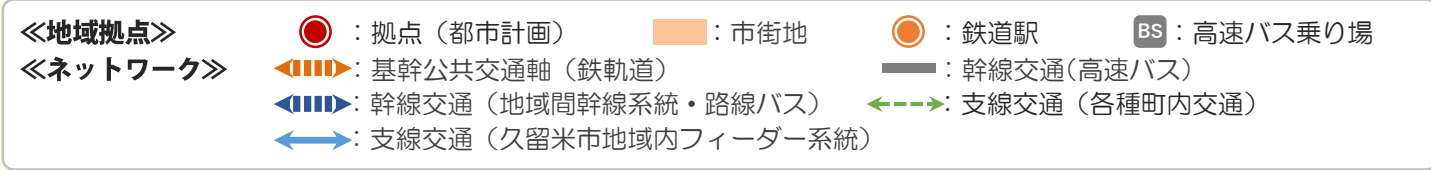
施策8 施設関係者と連携した利用促進・乗り場改善

- ① 沿線施設や生活サービス施設等と協力した待合環境の改善
- ② 警察・免許センター等と協力した免許返納時の情報提供・利用促進

施策9 福祉・観光等との連携による横断的な取り組みの促進

- ① 福祉・観光関係者と連携した外出企画の推進
- ② 沿線自治体と連携した利用促進

目標を達成するための施策（2022-2026）



● 施策の内容



施策1 西鉄甘木線及び甘木鉄道の維持

- 鉄道の継続的な維持に向けて、西鉄甘木線及び甘木鉄道の各駅において、公共交通の情報案内や乗継案内の強化など環境整備を行い、利用しやすい乗り場を確保します。
- 各駅構内の掲示板や車内広告・町のホームページを活用したパーク&ライド及びキス&ライド、レンタサイクルの情報発信により、鉄道の乗継利用の向上を図ります。

施策2 高速バスひた号の提供サービスの維持

- 高速バスの運行水準を維持するため、町内全域において運行情報やパーク&ライドによる乗継利用の周知を図るなど、継続的な利用促進に取り組みます。また、企画乗車券の販売やPRを行い、外出時における移動手段としての意識醸成を図ります。

施策3 路線バス北野線の提供サービスの維持

- 路線バスを継続的に維持していくための運行支援に取り組むとともに、今村天主堂バス停におけるパーク&ライド事業の継続や待合環境の整備（ベンチ設置等）による利便性向上を図ります。

施策4 町内の新たな交通手段の創出

- これまでの試験運行結果を踏まえ、R4年度より新たな交通サービスを開始します。また、地域生活交通検討会において、利便性の高い運行内容について随時検討していきます。

施策5 町内の補完的な交通手段の維持

- 移動が困難な方の外出移動を福祉有償運送事業等により支援していきます。また、地域主体で運行している校区巡回バスについては、持続可能な取り組みとして町も支援していきます。

施策6 町内の公共交通に関する利用案内の充実

- 町民に向けた分かりやすい公共交通の情報案内として、運行情報が一見して確認できる公共交通ガイドの作成や、町のホームページやSNS等による情報発信の強化を図ります。

施策7 地域主体の取り組みの推進

- これからの公共交通の形や維持に係る問題について住民自らが考える意見交換会の開催や、交通事業者と自治会が連携した交通安全教室の実施など、自家用車から公共交通への利用転換を図る取り組みを進めます。

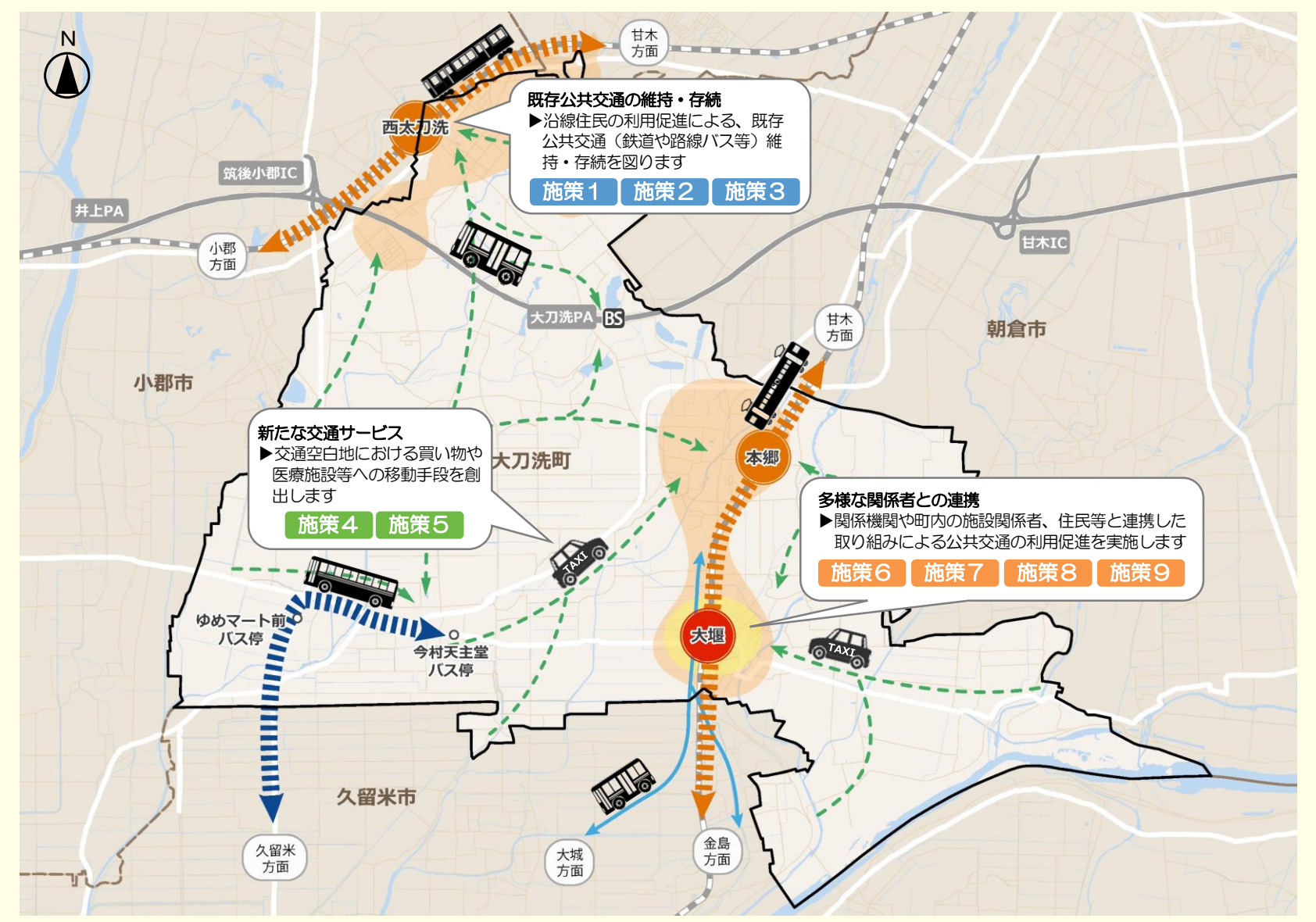
施策8 施設関係者と連携した利用促進・乗り場改善

- 公共交通の乗り場に隣接した施設等の協力を通じた待合所の提供やベンチの確保など、利用者が快適に過ごせる待合環境の整備に取り組みます。
- 警察署等の協力による運転免許返納時の公共交通の情報案内の強化により、公共交通への転換を促すためのサポートを行います。

施策9 福祉・観光等との連携による横断的な取り組みの促進

- 公共交通の維持・活性化に向けて、福祉関係者や観光関係者、沿線自治体と連携し、公共交通を利用した外出企画を推進します。

● 将来ネットワーク（目指すべき公共交通サービスの姿）



● 計画のマネジメント・評価方法

- 本計画の推進にあたっては、町民・交通事業者・大刀洗町が連携し、一体となって計画目標の達成に取り組んでいきます。また、施設関係者・沿線自治体・来訪者など、それぞれの立場からの連携協力と明確な役割分担をもって、公共交通施策を推進します。
- 評価方法は、計画（P）・実行（D）・確認（C）・見直し（A）の実行サイクルに沿って、令和8年度に最終評価を実施しますが、1年ごとに進捗状況のモニタリングを行いながら、目標達成に向けた施策の見直しを適宜行っていくこととします。利用促進策などは、変化していく利用者ニーズ等に対応するため取り組みの精度を高める重要性を認識し、トライ・アンド・エラーの繰り返しにより実効性のある取り組みを目指します。

